

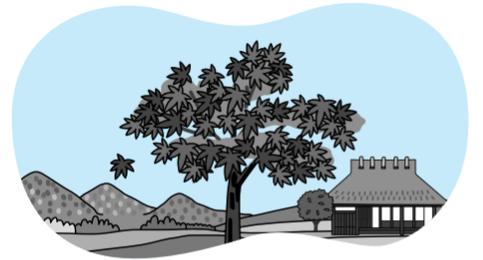
審査から 付託された議案・請願等を審査

本定例会では、通常の審査に加え決算審査について、各常任委員会単位で審査することを試行しました。各常任委員会では活発に質疑が行われ、決算審査の結果「認定すべきもの」と決し、多数の意見が付されました。10月4日の本会議において、下記の決議が全員一致をもって可決されました。

委員会提出議案第1号

「決算審査における意見に対する回答を求める決議」

決算審査で付された意見について、いかに対応し、また、改善したのか、その上で次年度の予算編成にどのように反映されたのか回答を求める。
以上、決議する。



健康福祉

9月12日・13日・20日に議案4件、請願2件、認定2件の審査を行いました。

保健所次長 今回10月1日

委員 B型肝炎ワクチンの定期予防接種化が開始

保健所次長 今までは、垂直感染、母子の感染は非常に防げてきたものの、乳児における水平感染がかなりの頻度であることが明らかになってきました。水平感染を減らすことで、社会全体の感染を防御するという意味で大変意義のある予防接種だと考えていますし、効果があることを期待しています。

委員 今回10月1日から予防接種を開始するに当たり、4月1日以降に生まれた一歳児未満の幼児に限定をするのはなぜか。

保健所次長 今回10月1日から始めるに当たって、4月1日以降にお生まれになった方という限定が設けられていますが、基本的には、この予防接種は定期予防接種として今後も継続して実施していきますので、生後1歳に至るまでの方が対象となります。今回限定した理由が、このワクチンは3回の接種が必要で、対象年齢の間に3回の接種が可能かどうかということ、国の検討において4月1日以降に生まれた方がぎりぎり3回接種可能ということ対象になりました。

委員 その前後に生まれた1歳にならない子どものフォローを考えたときに、ここだけでおさめ切っているのか。

保健所次長 今のところ、定期接種の範囲の中で予防接種を進めていきたいと考えています。

総務

9月12日・13日・20日に議案2件、認定1件の審査を行いました。

町田駅前Wi-Fi環境整備

委員 バスターミナル側が入っていないのはどういう意図か。

観光まちづくり担当課長 まず、利用客の多いJRの北口及び小田急の西口を整備して、その後、利用状況を見ながらWi-Fiスポットを拡大していきたい。当然のことながら、ターミナル口についても早い段階で整備したい。

委員 今後、町田市全土に広げていく考えでよいのか。

観光まちづくり担当課長 野津田公園も含めて、特に外国人旅行者の来訪が想定される国際版画美術館や町田薬師池公園四季彩の杜の観光施設につきましては、早い時期にWi-Fi環境を整備したいと考えています。その後、利用状況を見ながら、他の観光施設等へ拡大をしていきたいと考えています。なお、整備に当たりましては、2020年オリンピック・パラリンピックの開催までに整備を完了したいと思っています。

委員 これから全市に広げるに当たって、今後どういうふうに進めていくのか。

観光まちづくり担当課長 整備に当たりましては、インシャルコストだけではなく、将来的なランニングコストの負担を軽減するために、できる限り民間の力をおかりしながら進めていくことが重要だと考えています。市庁舎では、民間の力、民間の資金でWi-Fiの運営をしています。こういった広告収入で設置や運営を行っている事業者があるかどうか、引き続き確認をしていきたいと思っています。

決算審査（健康福祉） 認定すべきものと決定

- 民生費は、人口構造の変化等社会的な理由を背景に増大の一途を辿っている。その中であっても、歴史的な積み重ねのある町田市独自の福祉政策の持続、新たな開発及び予算配分の努力を続けられたい。
 - 障がい者就労支援事業については、就労そのものの支援は勿論のこと、就労を継続・持続できるような取り組みを強化されたい。
 - 生活困窮者に対する就労支援により94人中73人（78%）、就労に結びついた。今後、目標値をしっかりと定め、また、就労後についても定着率等、見守りをされたい。
 - 保健所建屋の老朽化という課題は、2011年4月の町田市への譲渡以前から、議会でも問題視されてきた。建替え等の根本的な対応策について議論を深化されたい。
 - 乳がん検診においては、実施医療機関が少ない為、更なる拡充をされたい。
 - ひきこもり者支援体制推進事業については、実態調査に基づいた実効性のある対策を行い、ひきこもり者への支援につながる件数を増やされたい。
 - 乳幼児健診等、利便性向上の為に土日受診出来るよう、医師会との協力体制を図るとともに、特に南地区には乳幼児健診会場がないので、早急に設置をされたい。
 - ジェネリック医薬品の普及、レセプトデータの二次点検等を促進し、医療費の適正化に努められたい。
 - いきいきポイント事業業務委託について、今後とも地域介護予防活動は推進されることから①受付団体を増やすこと②ボランティア登録者を増やすこと③還元者を増やすこと等を検討されたい。
- 【認定第2号】
- 小児科と休日準夜子どもクリニックとの連携を深め、小児救急医療体制の充実を図られたい（町田市病院事業会計決算書P.28）。
 - 医療従事者の確保について、医師の採用については医局だけに任せるのではなく事務方も参加されたい（町田市病院事業会計決算書P.28）。

など計38件の意見を附帯決議として付しました。

決算審査（総務） 認定すべきものと決定

- ふるさと納税については、事業の成果を数値で表されたい。
- 工事請負契約・物品契約については、より市内事業者の落札率を上げられるように努力されたい。また、不調件数に関しても、より適正な積算単価による入札で減らせるよう、努力されたい。
- 広報まちだなど市が発信する情報については、市民ニーズを分析し、紙媒体と合わせてHP・SNSの活用など必要な情報が対象者へ適切に届けられるような広報手段のあり方を検討されたい。
- 市民からの市政要望に対しては、職員の対応能力向上を図るとともに、要望の適切性の判断や、根本的解決に繋がる形を検討されたい。
- 予算編成に伴う事業見直しについては、より実態に見合った根拠のもと、行われたい。
- 多摩都市モノレールの町田延伸に関しては、行政がやるべき取り組みを早期に明確にされたい。
- 市税等の滞納者に対する公債権対策については、丁寧な納税相談を基本に、滞納理由などを十分聴取した上で、滞納額が高額になるまえに分納、減免情報を提供されたい。
- 市民農園の利用率は100%を越え、市民の市民農園に対するニーズは高くなっているが、2015年も2カ所が閉園となっている。今後は、農家開設型体験農園など新たな方策を進め、市民ニーズにより応えられたい。
- 町田市の特徴として創業支援（特に女性起業）に力を入れられたい。
- 商店街活性化支援事業について、商店街全体の状況をかんがみ、これまでのイベント中心の補助制度だけではなく、補助金の効果検証を深め、補助制度のあり方の抜本的検証を講じられたい。
- 小野路宿里山交流館は北部丘陵の入り口のひとつとして、北部丘陵の魅力を市内外に知らしめる役割があると考えられる。訪れる人が足をのばしたくなる仕掛けを今後も充実されたい。

など計50件の意見を附帯決議として付しました。